

社会のルールを守れる人づくり

人間基礎教育のまち せっつ

～まちづくりのテーマ～

戦後わが国は、めざましい経済発展を遂げ、豊かで平和な社会を築いてまいりました。しかし、あまりにも物の豊かさを求めすぎたため、人間として大切な心の問題を置き去りにしてきた感があります。また、昨今、自分さえよければと、個人の権利のみを主張し、社会の一員としての義務を忘れていているところがあるのではないのでしょうか。

このような世の中だからこそ、より良い社会を形成するためには、生き方や価値観が違ってても、基本的な社会のルールを守れる人づくりが必要です。

本市は、思いやりの心、奉仕の心、感謝の心、あいさつを励行する心、節約・環境を大切にする心を柱とする「人間基礎教育」をまちづくりのテーマとして掲げております。何か当たり前のことすぎて今さらと思われるかもしれませんが、しかし、私たちは、その「当たり前のこと」を実行してきたでしょうか。

「人間基礎教育」は、心に関わる問題でもあり、一朝一夕に成し遂げられる課題ではありませんが、家庭、学校、地域や職場など身近なところで実践していただくことを願っております。



5つの「心」で人づくり 夢づくり まちづくり

●思いやりの心 ●奉仕の心 ●感謝の心 ●あいさつを励行する心 ●節約・環境を大切にする心

摂津市長
森 山 一 正



摂津市は、大阪北部の三島平野に位置し、淀川や安威川、大正川などの川がおりなす豊かな水の恵みを受けた、人口8万5千人のコンパクトなまちです。

昭和41年11月1日、大阪府内で28番目の市として誕生した本市は、大都市圏の近郊にあって北大阪の交通の要所として栄え、工業や流通・運輸業を中心とする北摂きっての産業都市として、着実に発展してまいりました。そして本年、50周年という記念すべき節目の年を迎えました。これも苦労を重ねてこられた先人のご尽力と、市民の皆様の温かいご理解ご協力の賜物と、深く感謝をいたしております。

目指す将来像「みんなが育む つながりのまち 摂津」のとおり、本市は人と人とのつながりを大切にしております。私は市長就任以来、思いやり・奉仕・感謝・あいさつ・節約といった人として当たり前のことを実践する「人間基礎教育」を提唱してまいりました。お互いに気持ちの通い合う豊かな人間関係と市民活動の好循環を求めながら、子どもをはじめ障害者や高齢者に対する施策の充実、地域社会の安全安心の向上などに取り組んでまいりました。

さらに未来に向けた夢のあるまちづくりとして、新しいまち「健都(北大阪健康医療都市)」において健康・医療のまちづくりを進めており、全国、世界に発信する市へと更なる発展を目指してまいります。

このたび、市制施行50周年を記念して発刊いたしました市勢要覧には、自然やまち並み、人の輝きなど本市の魅力をたくさん集めました。多くの皆様にご覧いただければ幸いに存じます。